

伸びる 理 企業には 由 がある

シリーズ239

中央歯科補綴研究所

差し歯などの虫歯治療において、保険制度の範囲内で選択可能な治療法や素材には限界がある。また、口内に入れると口臭やアレルギーの元となる素材がある。そのため歯の健康を守るためには、患部にかぶせる上部構造（義歯・冠部分）の素材選びにも注意が必要といわれる。

「当社では歯科医院と連携して、自費適用で治療する患者様に自由な素材選びを支援して、安全で丈夫な美しい上部構造を提供している」

こう語るのは中央歯科補綴研究所の木村正社長だ。同社は金属を使用した治療で起こるアレルギーや不快感を解消するため、ジルコニア素材の上部構造を推奨する歯科技工士集団だ。

ジルコニアは人工ダイヤモンドとも呼ばれ、2005年に薬事法で認可されたセラミック素材。骨の代替素材として人工関節に使用されるなど生体との親和性が高く、歯としても用いられている。

同社は薬事法の認可前からインプラント治療などに有効で安全性も高いジルコニアに着目。同業他社に先駆けてCAD・CAM（コンピュータ

ー支援による設計・生産システム）を導入し、加工技術やノウハウを吸収してきた。

「当社では、最高の品質で歯を提供するために、設備だけではなく歯科医院と共同で患者様をフォローする体制も整えている」（木村社長）

同社では歯科医院と歯科技工士が連携して患者のヒアリングや口腔写真を撮影して、歯の形状や色を提案する。保険適用の素材では再現できない美しさを追求した歯は女性を中心に好評だという。

ジルコニアを使用した差し歯・冠「ダイヤモンドクラウン」

「今後は業界の人材不足を少しでも補うため人材育成に力を入れながら、患者様に選ばれる歯科医院づくりの一翼を担っていく」（木村社長）

その一環として同社ではジルコニア素材の義歯を「ダイヤモンドクラウン」として商標登録中。自社で手がけた上部構造をブランド化して、提携する歯科医院の集客につなげる。

「医院との連携と『ダイヤモンドクラウン』の普及で、安全で美しい歯を提供するだけでなく、食べる喜びも守る」と木村社長は展望を話す。



木村 正 社長

住所＝東京都目黒区自由が丘1-3-21
ハイブリッドビル2F
☎03-3725-1995
ホームページ＝
<http://www.chuo4618.com>